

- 明治31. 4. 1 創立 福島県第四尋常中学校と称する。
- " 31. 5. 7 中村尋常小学校の一部を仮校舎として授業開始、第1学年生徒数162名
この日を創立記念日とする。
- " 32. 4. 1 福島県第四中学校と改称
- " 32. 4. 9 第1期建築完成本校舎にうつる。さらに第2第3期と工事続行完成する。当時の校地総計3町
5畝18歩
- " 34. 4. 1 福島県相馬中学校と改称
- " 34. 4. 27 福島県立相馬中学校と改称
- " 35. 2. 25 寄宿舍2棟新築落成開舎 舎生100名余
- " 36. 3. 30 第1回卒業生55名を出す。
- " 36. 4. 馬城会設立
- " 41. 10. 校歌制定
- " 43. 11. 3 校旗制定
- 大正 2. 5. 7 創立15周年記念式
- " 8. 募集定員150名
- " 9. 校舎1棟増築
- " 10. 12. 13 寄宿舍1棟焼失
- " 12. 校舎1棟増築
- " 12. 5. 7 創立25周年記念式
- 昭和 5. 3. 舎生減少のため寄宿舍廃止
- " 8. 12. 16 創立35周年記念事業として馬城会発起による講堂建設
- " 14. 8. 6 馬城会改組 会長 折笠晴秀
- " 16. 5. 16 学級増加により旧寄宿舍を教室に改築落成 定員200名
- " 19. 7. 15 戦争苛烈となり学徒の勤労働員はじまる。5年生福島方面、3年生横須賀方面、4年生川崎方
面に次々に出動、長きは終戦時まで滞在勤務
- " 20. 4. 17 3年生石川方面に勤労働員
- " 20. 8. 15 終戦 この直前校舎の渡り廊下取りこわし作業はじめ、且つ重要書類を疎開
- " 21. 1. 11 汽車の遅延甚しく通学不便につき、この日より小高、原町、鹿島、山下に臨時分校を開設。
但し冬期のみとする。(翌年も同様)
- " 23. 2. 24 保護者会よりPTAとなり新発足
- " 23. 4. 1 学制改革により福島県立相馬高等学校設立(全日制普通科)、併設中学校をおく。
- " 23. 5. 7 創立50周年記念式、馬城会の事業の一つとして郷土博物館設立準備に着手、郷土室設置
- " 24. 3. 5 高等学校第1回卒業式、中学校第48回卒業式
- " 24. 4. 1 一部総合制実施により、普通科、商業科設置、募集定員普150名、商50名
- " 25. 4. 1 定時制課程設置により、新地高等学校中村分校を本校に合併、定時制募集定員農業科、夜間普
通科、家庭科別科合計して200名増となる。校舎改築により教室を増設
- " 26. 4. 1 新地高等学校廃止、本校の新地農業部となる。本校生徒の募集定員総数400名となる。
- " 28. 10. 25 相馬高等学校改築期成同盟会発足
- " 30. 4. 1 本校の定時制家庭科別科を相馬女子高校に、農業科を本校新地農業部に移す。随って全日制普
通科募集定員150名、商業科50名、定時制夜間普通科40名となる。
- " 31. 4. 16 校舎改築29年度分及び30年度分竣工(第1期工事、鉄筋コンクリート3階建260坪、理科関係
各室、電源室)
- " 32. 4. 1 全日制普通科定員200名となる。
- " 32. 4. 6 校舎改築31年度分竣工(第2期工事 267坪)
- " 33. 5. 31 校舎改築32年度分竣工(第3期工事 173坪)
- " 34. 2. 10 校舎改築33年度分竣工(第4期工事 114坪)
- " 34. 12. 30 校舎改築34年度分竣工(第5期工事 227坪)
- " 35. 4. 1 募集定員普通科150名とする。
- " 36. 4. 1 定時制夜間普通科募集停止

- 昭和36.10.18 校舎改築35年度分竣工（第6期工事 286坪）
- ” 37. 2. 7 校舎改築36年度分竣工（第7期工事 29坪）
- ” 37. 3.31 校舎改築グラウンド整備工事完成（約3,000坪）
- ” 38. 4. 1 募集定員普通科220名、商業科55名となる。
- ” 39. 2.25 相馬一猪苗代線道路拡張工事に伴い本校敷地200坪減、同保証費により正門並びにパイプ塀・防火水槽完成（旧正門の石材で裏門を改造）同年度中、中庭及び前庭整備
- ” 39. 3. 1 定時制夜間普通科4年生卒業、定時制廃止
- ” 39. 4. 1 新地農業部廃止、福島県立新地高等学校設置
- ” 40. 7.22 体育館竣工（1,200㎡）
- ” 43. 4. 1 募集定員普通科208名、商業科52名となる。
- ” 43. 5. 7 創立70周年記念・校舎改築落成祝賀式典挙行
- ” 44. 1.14 図書館竣工（225㎡）
- ” 44. 3.17 柔剣道場竣工（326㎡）
- ” 44. 4. 1 商業科募集停止、理数科設置、募集定員45名、普通科募集定員196名となる。
- ” 45. 4. 1 募集定員普通科188名となる。
- ” 45. 8. 5 プール（25m、7コース）竣工
- ” 46. 4. 1 募集定員 普通科184名、理数科42名となる。
- ” 47. 4. 1 募集定員 普通科180名、理数科40名となる。
- ” 53. 3.31 創立80周年記念校歌碑建立
- ” 53. 5. 7 創立80周年記念式典挙行
- ” 58. 2.23 理数科定員臨時増3名、58年度入学募集定員普通科180名、理数科43名となる。
- ” 58. 5.30 校訓制定 誠実・剛健・博愛
- ” 59. 4. 9 福島県教育委員会より昭和59～60年度研究推進校（生徒指導）の指定を受ける。
- ” 59. 9. 9 馬城会館落成式挙行（鉄筋コンクリート2階建463.1㎡ 工事費59,485,000円）馬城会より9月6日県へ寄付採納
- ” 60. 4. 1 普通科暫定増8名、理数科暫定増2名で普通科定員188名、理数科定員42名となる。
- ” 60.11.15 福島県教育委員会指定研究発表「高校生活を充実させるためのホームルームの進め方」
- ” 62. 2.25 理数科定員臨時増2名で、62年度募集定員は普通科180名、理数科42名となる。
- ” 63. 4. 1 63年度募集定員暫定増で普通科定員188名、理数科定員42名となる。
- ” 63. 9. 2 創立90周年記念式典挙行
- 平成 2. 4. 1 平成2年度募集定員暫定増で普通科定員188名、理数科定員42名。推薦入学者選抜制度発足。
- ” 3. 4. 1 募集定員 普通科180名、理数科40名となる。
- ” 4. 1.25 校舎改築期成同盟会発足（会長 相馬市長）
- ” 6. 3.22 家庭総合実習室竣工（225㎡）
- ” 8. 4. 1 募集定員 普通科160名、理数科40名となる。
- ” 10. 5. 2 創立百周年記念事業として、「創立100周年記念演奏会」が開かれる。
- ” 10. 6. 1 福島県教育委員会学校改革計画に基づく、男女共学化、校舎改築に対応する学校改革検討委員会が発足。
- ” 10. 7. 6 創立百周年記念事業として、「相高相中百年史」が発刊。
- ” 10.10. 3 創立百周年記念式典挙行。記念講演会（講師・東北大学総長 阿部博之氏）。
- ” 12. 1.24 馬城会寄贈の「若駒会館」着工。
- ” 12. 3.25 創立百周年記念事業として、「相高100年の美術展」が開かれる。
- ” 12. 9.26 「若駒会館」竣工。（鉄筋コンクリート平屋建162.62㎡ 工事費28,407千円）馬城会より寄付採納。
- ” 13. 9.12 新校舎建築のため図書室等校舎の一部取り壊し。
- ” 13.10.15 新校舎改築工事着工。
- ” 14. 4. 1 学校改革に伴い二期制とする。新校訓「至誠」制定。
- ” 14. 5.29 学校評議員会開催（第一回）。
- ” 15. 3.19 新校舎改築工事竣工（鉄筋コンクリート造、一部プレキャスト造3階建11,819㎡）県より引き渡しされる。
- ” 15. 3.26 新校舎への移転（～28）

- 平成15. 4. 1 普通科男女共学化。1学級増となり、募集定員普通科200名、理数科40名となる。
- " 15. 4. 8 普通科男子115名女子85名、理数科男子19名女子21名入学する。
- " 15. 5. 7 馬城会寄贈の音楽堂陶壁画「春の若駒」除幕式。
- " 15. 9. 26 宝生流能楽師による能舞台のこけら落とし。
- " 15.10. 8 グラウンド整備着工。
- " 15.10.27 旧校舎解体工事完了。
- " 16. 3.31 旧相馬東高校施設が引き渡しされる。
- " 16. 4.15 文部科学省よりスーパーサイエンス・ハイスクール（SSH）の指定（3年間）を受ける。
- " 16. 7.16 グラウンド整備工事竣工。
- " 16.10. 8 新校舎落成記念式典挙行。
- " 17. 4. 1 各学年が普通科5学級、理数科1学級の計6学級となる。計18学級・定員720名。
- " 17. 7.22 小和田恒氏（皇太子妃雅子様父・国際司法裁判所判事）が、「相馬中学時代の父と教育～若い人たちへのメッセージ～」と題し、相馬市民会館で講演。
- " 18. 3. 1 平成15年度の普通科男女共学化後初めての卒業生計231名。普通科193名（男114名・女79名）、理数科38名（男18名・女20名）
- " 19. 4. 1 文部科学省よりスーパーサイエンス・ハイスクール（SSH）の継続指定（2年間）を受ける。
- " 20. 5. 4 創立110周年記念事業として、「記念吹奏楽部演奏会」が開かれる。
- " 20. 8. 4 創立110周年記念事業として、「体育館遮光幕“天翔る春の若駒”」設置。
- " 20. 9.22 創立110周年記念事業として、「相馬高校OB書道展」が開かれる。
- " 20. 9.27 創立110周年・校歌制定100周年記念式典挙行。
記念講演会（講師・明治大学理事長 長堀守弘氏）。
- " 21. 1.13 創立110周年記念事業として、「記念誌“紅の旗”」発刊。
- " 21. 6.19 科学技術振興機構（JST）のパートナーシッププロジェクト（SPP）サイエンスに採択される。
- " 21. 7.29 バレーボール部が高校体育大会全国大会でベスト8に入る。
- " 22.11. 5 校旗制定100年を祝う会実施。
- " 23. 3.11 東日本大震災により被災。
- " 23. 5. 9 サテライト校（原町高校）が本校舎内で開設。
- " 23. 5.12 サテライト校（相馬農業高校）が第二体育館内で開設。
- " 23. 6.26 バレーボール部が東北高校選手権で初優勝。
- " 23. 8.10 第二校舎敷地内にサテライト校仮設校舎が建設、原町高校（一部）、相馬農業高校及び小高工業高校の3校が移転。
- " 23. 8.23 築地本願寺寄贈の冷房設備（エアコン）を普通教室に設置。（～24年）
- " 24. 4. 1 1学級減となり、募集定員普通科160名、理数科40名となる。三期制となる。
- " 25. 7.22 放送局がJCJ（日本ジャーナリスト会議）特別賞を高校生として初めて受賞。
- " 25. 7.25 放送局が第60回NHK杯全国高校放送コンテスト「テレビドキュメント部門」で優勝。
- " 25.11. 8 本校舎・第二校舎・川原町グラウンドの除染実施。
- " 26. 5.22 築地本願寺寄贈の冷房設備（エアコン）を特別教室に設置。
- " 27.11.16 相馬高校OBら芸術家と美術部の合同展開催
ウクライナの芸術家ゾヤ・スコロバデンコ氏のモニュメント設置
- " 28.11.21 講堂耐震改修工事竣工。
- " 29. 7.28 バレーボール部が全国高等学校総合体育大会への出場20回の表彰を受ける。
- " 29.11.30 除染除去土壌等搬出完了。
- " 30. 3.26 昇降機改修工事竣工。
- " 30. 4. 1 1学級減となり、募集定員普通科120名、理数科40名となる。
- " 30. 5.10 講堂が登録有形文化財（建造物）となる。
- " 30. 7. 3 福島イノベーション・コースト構想の核となるトップリーダーの育成事業の対象校となる。
- " 30.10.20 創立120周年記念式典挙行。
記念講演会（講師・河北新報社論説委員 寺島英弥氏）
- " 31. 1.11 保健室空調機修繕工事竣工。
- " 31. 2.28 創立120周年記念事業として、馬城会相馬支部より、正門前ロータリー内に松を植樹。